



報道発表

平成31年2月22日
横浜税関

横浜税関における密輸摘発状況(平成30年)

覚醒剤・麻薬の大量密輸事犯を摘発 - 不正薬物の多様化 -

1. 不正薬物

不正薬物^{(*)1}全体の摘発件数は441件(前年比21%増、全国の約5割)と増加。

押収量^{(*)2}は約322kg(前年比62%減、全国の約2割)と減少。3年連続300kg超。

(*)1 覚醒剤、大麻、あへん、麻薬(ヘロイン、コカイン、MDMA等)、向精神薬及び指定薬物をいう

(*)2 錠剤型薬物を除いたもの

2. 覚醒剤

摘発件数は40件(前年比54%増、全国の約2割)と増加。過去10年で最多。

押収量は約183kg(前年比78%減、全国の約2割)と減少。

3件の大口事犯を摘発。

3. 麻薬

摘発件数は144件(前年比19%増、全国の約6割)と増加。

押収量も約121kg(前年比約91倍、全国の約7割)と大幅に増加。

過去最大級のコカインを摘発。

4 - 1. 国際郵便物(川崎外郵)からの摘発(全体)

摘発件数は429件(前年比20%増)であり、全国の不正薬物摘発件数の約5割、全国の国際郵便における不正薬物摘発件数の約8割。

指定薬物から様々な薬物(覚醒剤、大麻、コカイン、MDMA)への拡大が顕著に。

近年、越境Eコマースを利用した手口が多発。

4 - 2. 国際郵便物(川崎外郵)からの摘発(大麻)

摘発件数は101件(前年比31%増、全国の約4割)と増加。

押収量も約10kg(前年比約4倍)と大幅に増加。

大麻製品の摘発が急増、様々な大麻製品を摘発(大麻含有食品、液状大麻等)。

連絡・問合せ先 横浜税関 調査部

特別審査官(第1担当): 遠藤

045-212-6080

密輸情報フリーダイヤル 0120-461-961
E-mail:yokohama-mitsuyu110@customs.go.jp



横浜税関における密輸摘発状況（平成30年）

1. 不正薬物

不正薬物全体の摘発件数は441件（前年比21%増、全国の約5割）と増加している。

押収量は約322kg（前年比62%減、全国の約2割）と減少したが、3年連続で300kg超を記録した。



（注）その他とは、あへん、麻薬（ヘロイン、コカイン、MDMA等）、向精神薬及び指定薬物をいう。
 なお、指定薬物は平成27年4月に「輸入してはならない貨物」に追加された。

2. 覚醒剤

覚醒剤事犯の摘発件数は40件（前年比54%増、全国の約2割）と増加し、過去10年で最多を記録した。

押収量は約183kg（前年比78%減、全国の約2割）と減少した。

◎3件の大口事犯を摘発

【事例1】 タイ王国来海上コンテナ貨物に隠匿された覚醒剤を摘発

平成30年10月、タイ王国来海上コンテナ貨物について、税関検査を実施したところ、覚醒剤約50kgを発見・摘発した。

同月、横浜港に陸揚げされた同様のタイ王国来海上コンテナ貨物からも、覚醒剤約108kgを発見・摘発した。

1件目



2 件目



【事例 2】 ナイジェリア来海上コンテナ貨物に隠匿された覚醒剤を摘発

平成 30 年 4 月、横浜港に陸揚げされたナイジェリア連邦共和国来海上コンテナ貨物から、覚醒剤約 15kg を発見、摘発した。



3. 麻薬

摘発件数は 144 件（前年比 19% 増、全国の約 6 割）と増加した。

押収量は約 121kg（前年比約 91 倍、全国の約 7 割）、錠剤型も約 2 万錠（前年比約 12 倍、全国の約 9 割）と大幅に増加した。

◎過去最大級のコカインを摘発

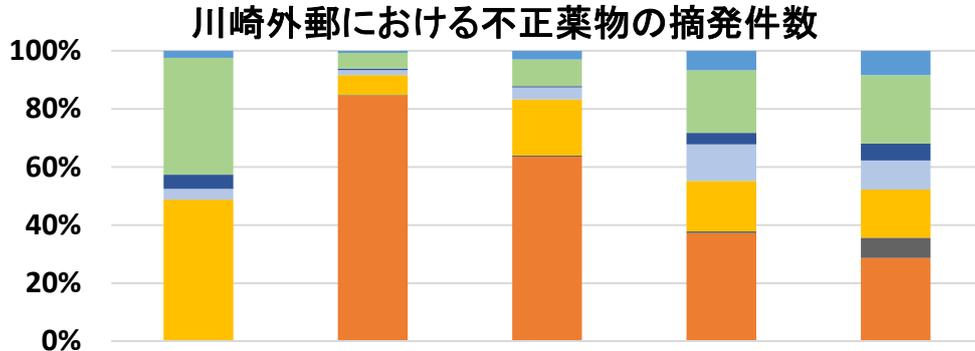
【事例 1】 コンテナ船から大量コカインを摘発

平成 30 年 8 月、横浜港に入港したコンテナ船から、コカイン約 115kg を発見・摘発した。



4-1. 国際郵便物（川崎外郵）からの摘発（全体）

川崎外郵出張所における摘発件数は429件（前年比20%増）であり、全国における不正薬物摘発件数の約5割、全国の国際郵便における不正薬物摘発件数の約8割を占めた。



	H26	H27	H28	H29	H30
	件数(構成比)	件数(構成比)	件数(構成比)	件数(構成比)	件数(構成比)
覚醒剤	2 (2.4%)	7 (0.7%)	13 (3.0%)	24 (6.7%)	36 (8.4%)
大麻	33 (40.2%)	53 (5.4%)	40 (9.2%)	77 (21.6%)	101 (23.5%)
コカイン	4 (4.9%)	5 (0.5%)	2 (0.5%)	14 (3.9%)	25 (5.8%)
MDMA	3 (3.7%)	17 (1.7%)	18 (4.1%)	45 (12.6%)	43 (10.0%)
その他麻薬	40 (48.8%)	67 (6.9%)	84 (19.3%)	62 (17.4%)	71 (16.6%)
向精神薬	0 (0.0%)	2 (0.2%)	2 (0.5%)	2 (0.6%)	30 (7.0%)
指定薬物	0 (0.0%)	825 (84.5%)	277 (63.5%)	133 (37.3%)	123 (28.7%)
合計	82 (100.0%)	976 (100.0%)	436 (100.0%)	357 (100.0%)	429 (100.0%)

指定薬物の摘発は、減少しているが、覚醒剤、大麻、コカイン、MDMAの摘発がいずれも増加しており、指定薬物から様々な薬物へ拡大し、不正薬物全体の摘発件数は20%増加している。

また、ここ数年、インターネットにより不正薬物を海外サイトに発注する、越境Eコマースを利用した手口が多発している。

SNS等の利用拡大により、不正薬物の入手方法が、インターネットによるものへと変化しており、いわゆる闇サイト等を通じて、だれでも容易に不正薬物を海外に発注できるなど、非常に深刻な状況となっている。

(1) 覚醒剤

摘発件数は36件（前年比50%増）と大幅に増加、押収量は約9.7kg（前年比46%減）

【事例1】国際郵便物に隠匿された大量の覚醒剤を摘発

平成30年10月、米国から到着した国際郵便物を検査したところ、内容物であるロウソク内に隠匿された覚醒剤約4.8kgを発見・摘発した。



(2) 麻薬

摘発件数は139件（前年比15%増）と増加、押収量は約5.6kg（前年比約4倍）、約2万錠（前年比約12倍）と急増

【事例2】国際郵便物に隠匿された大量のMDMAを摘発

平成30年10月、ドイツ連邦共和国から到着した国際郵便物を検査したところ、郵便物内に隠匿された麻薬であるMDMA錠剤約1万8千錠を発見・摘発した。



【事例3】国際郵便物に隠匿されたコカインを摘発

平成30年3月及び4月、フランス共和国から到着した国際郵便物2通を検査したところ、それぞれ、麻薬であるコカイン約3.5g及び約6.6gを発見・摘発した。



【事例4】国際郵便物に隠匿された麻薬を摘発

平成30年1月及び3月、オランダから到着した国際郵便物を検査したところ、それぞれ、郵便物内に隠匿された麻薬であるLSD（リゼルギン酸ジエチルアミド）及びコカインを含有する紙片約0.8g及び約0.4gを発見・摘発した。



【事例5】国際郵便物に隠匿された麻薬を摘発

平成30年1月、ノルウェー王国から到着した国際郵便物を検査したところ、麻薬である2C-B 約1.2gを発見・摘発した。



(3) 向精神薬

摘発件数は30件（前年比約15倍）、押収量は約1.7万錠（前年比約220倍）と急増

(4) 指定薬物

摘発件数は123件（前年比8%減）と減少、押収量は約7.6kg（前年比約2倍）と増加

【事例6】国際郵便物に隠匿された指定薬物を摘発

平成29年11月から平成30年5月までの間に、スロベニアから到着した国際郵便物3通を検査したところ、指定薬物である亜硝酸イソペンチルを含有する液状物24本を発見・摘発した。



4-2. 国際郵便物（川崎外郵）からの摘発（大麻）

川崎外郵出張所における大麻の摘発件数は101件（前年比31%増、全国の約4割）と増加、押収量は約10kg（前年比約4倍）と大幅に増加した。

特に、大麻草や大麻樹脂等の従来型の大麻に加え、液状大麻や大麻を含有する食品などの大麻製品の摘発が急増した。

【事例1】国際郵便物に隠匿された乾燥大麻を摘発

平成30年9月、米国から到着した国際郵便物を検査したところ、乾燥大麻約26gを発見・摘発した。



◎大麻製品の摘発が急増（大麻含有食品、液状大麻等）

【事例2】国際郵便物に隠匿された液状大麻を摘発

平成30年6月から7月にかけて、米国から到着した国際郵便物3通を検査したところ、液状大麻計230本(約212g)を発見・摘発した。



【事例3】国際郵便物に隠匿された液状大麻を摘発

平成30年6月、米国から到着した国際郵便物を検査したところ、液状大麻5本(約2.3g)を発見・摘発した。



【事例4】国際郵便物に隠匿された大麻製品を摘発

平成30年9月、米国から到着した国際郵便物を検査したところ、大麻を含有するグミ及びスナック菓子様のもの約919gを発見・摘発した。



【参考】大麻製品（摘発事例）



大麻ペースト
(平成 30 年 7 月摘発)



大麻クッキー
(平成 30 年 5 月摘発)



大麻キャンディ
(平成 28 年 12 月摘発)

5. その他（告発事例）

【事例 1】 盗難自動車密輸出事犯

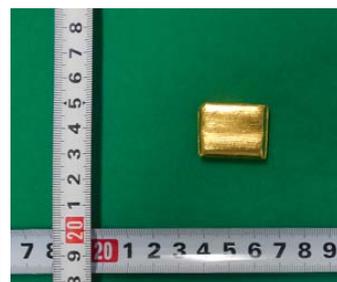
税関長の許可を受けずに

盗難品である乗用車 計 6 台

をパキスタン・イスラム共和国へ不正に輸出した日本人 4 名及びパキスタン人 2 名並びに法人 1 社を、平成 30 年 12 月、関税法違反で告発した。

【事例 2】 金密輸入事件

台湾から金地金約 1.6 キロを密輸しようとしたとして台湾人 1 名及び日本人 2 名を平成 30 年 7 月、宇都宮地方検察庁へ告発した。



※平成 30 年の横浜税関における金地金密輸摘発状況

摘発件数 11 件（前年比 35%減）、押収量約 18kg（前年比 72%減）

【資料1】社会悪物品の摘発実績（全国・横浜）

種類	年	平成26年		平成27年		平成28年		平成29年		平成30年			前年比	
		横浜		横浜		横浜		横浜		横浜		対全国比	横浜	
		件	kg	件	kg	件	kg	件	kg	件	kg		対全国比	件
覚醒剤	件	174	5	83	10	104	19	151	26	171	40	23%	113%	154%
	kg	549	45	422	172	1,501	316	1,159	843	1,156	183	16%	100%	22%
大麻	件	99	35	122	59	118	43	171	80	230	101	44%	135%	126%
	kg	74	6	34	19	9	3	131	3	156	10	7%	120%	401%
大麻草	件	52	17	58	28	81	34	115	49	129	45	35%	112%	92%
	kg	35	5	29	18	6	1	117	2	143	1	1%	122%	71%
大麻樹脂	件	47	18	64	31	37	9	56	31	101	56	55%	180%	181%
	kg	40	1	6	1	3	2	13	1	13	9	70%	98%	983%
あへん	件	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	kg	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
麻薬	件	91	48	213	90	182	106	170	121	229	144	63%	135%	119%
	kg	6	0	26	1	121	95	82	1	165	121	73%	202%	91.2倍
	千錠	2	2	1	0	1	1	2	2	22	20	90%	13.4倍	12.4倍
ヘロイン	件	2	-	2	-	6	6	6	3	8	7	88%	133%	233%
	kg	0	-	2	-	0	0	70	0	0	0	100%	0%	773%
コカイン	件	10	4	8	5	12	4	24	14	56	27	48%	233%	193%
	kg	2	0	18	0	119	95	10	1	152	116	76%	15.5倍	105倍
MDMA等	件	5	3	23	17	27	18	48	45	59	44	75%	123%	98%
	kg	0	0	0	0	1	0	0	0	9	5	52%	80.4倍	42.2倍
	千錠	0	0	0	0	1	1	2	2	21	20	93%	13.7倍	12.8倍
ケタミン	件	7	-	12	-	20	3	18	7	16	8	50%	89%	114%
	kg	1	-	4	-	1	0	0	0	1	0	2%	391%	83%
その他麻薬	件	67	39	168	68	117	75	74	52	90	58	64%	122%	112%
	kg	3	0	2	0	1	0	1	0	2	0	10%	243%	312%
	千錠	2	2	1	0	0	0	0	0	1	0	24%	837%	285%
向精神薬	件	26	1	16	3	11	3	17	2	38	31	82%	224%	15.5倍
	kg	-	-	0	0	-	-	0	-	-	-	-	全減	-
	千錠	9	2	7	4	2	2	4	0	26	18	70%	589%	229倍
指定薬物	件	-	-	1,462	826	477	277	275	135	218	125	57%	79%	93%
	kg	-	-	40	23	19	7	8	3	16	8	48%	191%	231%
合計	件	390	89	1,896	988	892	448	784	364	886	441	50%	113%	121%
	kg	630	52	522	215	1,650	421	1,380	851	1,493	322	22%	108%	38%
	千錠	11	4	8	4	3	2	6	2	48	38	79%	793%	22.5倍
(参考)使用回数	万回	1,885	-	1,499	-	5,405	-	4,638	-	4,406	-	-	95%	-

銃 砲	件	3	-	5	1	4	1	7	1	10	2	20%	143%	200%
	丁	4	-	5	1	4	1	19	2	12	3	25%	63%	150%
うち拳銃	件	3	-	5	1	4	1	6	1	9	1	11%	150%	100%
	丁	4	-	5	1	4	1	18	2	11	2	18%	61%	100%
拳銃部品	件	2	-	-	-	-	-	3	2	1	-	-	33%	全減
	点	2	-	-	-	-	-	4	3	1	-	-	25%	全減

- (注) 1.税関が摘発した密輸入事件に係る押収量の他、警察等他機関が摘発した事件で、税関が当該事件に関与したものに係る押収量を含む。
2.覚醒剤は、覚醒剤及び覚せい剤原料の合計数量を示す。
3.大麻樹脂は、大麻樹脂その他の大麻の製品の合計数量を示す。
4.MDMA等は、MDMA、MDA及びMDEの合計数量を示す。
5.(参考)使用回数は、以下の不正薬物について、乱用者の通常の一回分使用量をもとに換算し、合計したものである。
(覚醒剤:0.03g、大麻草:0.5g、大麻樹脂:0.1g、あへん:0.3g、ヘロイン:0.01g、コカイン:0.03g、MDMA等及び向精神薬:1錠)
6.端数処理のため数値が合わないことがある。
7.数量の表記について、「0」とは500gまたは500錠未満の場合を示し、「-」とは全く無い場合を示す。
8.平成30年の数値は速報値である。

【資料2】不正薬物の密輸形態別摘発件数（全国・横浜）

（件）

形態別	平成26年		平成27年		平成28年		平成29年		平成30年		
	年	横浜	横浜	横浜	横浜	横浜	横浜	横浜	横浜	前年比	
航空機旅客等による密輸	171	1	107	1	176	1	214	1	248	3	300%
国際郵便物を利用した密輸	166	82	1734	981	640	437	526	359	564	431	120%
商業貨物等を利用した密輸	39	6	45	3	60	9	36	3	62	6	200%
航空貨物等	27	0	34	0	49	0	32	0	48	0	-
海上貨物等	12	6	11	3	11	9	4	3	14	6	200%
船員等による密輸	14	0	10	3	16	1	8	1	12	1	100%
合 計	390	89	1896	988	892	448	784	364	886	441	121%

（注）航空機旅客等には、航空機乗組員を含み、船員等には、船舶旅客を含む。また、商業貨物等には、別送品を含む。

【資料3】不正薬物の仕出国別摘発件数（横浜）

仕出国等	オランダ	米国	中国	英国	ドイツ	インド	カナダ	香港	シンガポール	ベルギー	その他	合計
摘発件数（件）	127件	86件	38件	26件	23件	19件	18件	13件	12件	10件	69件	441件
（うち国際郵便物）	（127件）	（83件）	（36件）	（26件）	（23件）	（19件）	（18件）	（13件）	（12件）	（10件）	（64件）	（431件）
構成比（%）	28.8%	19.5%	8.6%	5.9%	5.2%	4.3%	4.1%	2.9%	2.7%	2.3%	15.6%	100.0%